

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

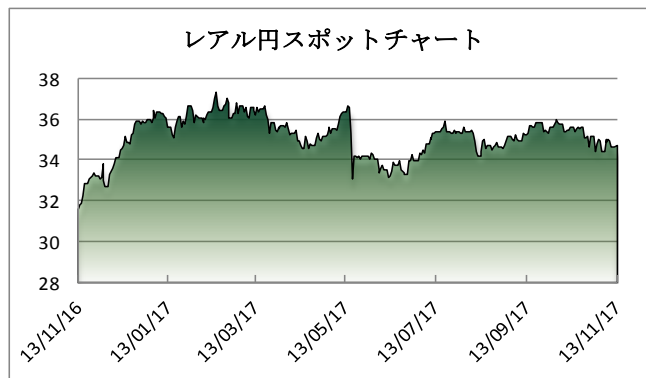
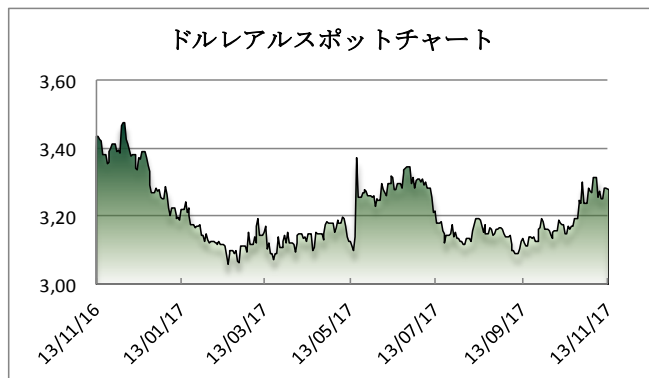
昨日のドルレアルスポット相場は、年金改革法案に不透明性が強まっていることに加え、英国のMay首相に対する退陣圧力が高まるなどグローバルにリスクセンチメントが悪化したことを背景に、レアル売りが優勢の展開となり、一時3.30台までレアル安が進行する場面も見られた。しかし、Temer大統領が12月中旬を目処に内閣改造を実施すると公表したことがマーケットにポジティブに作用すると(年金改革承認への道が開けるとの見方が強まった模様)、引けにかけてレアルは急速に反発し、3.27台後半で取引を終えた。同大統領はまた、Estado紙に対して、「社会保障改革は実現可能」と述べた他、「無駄な時間はなく、改革を推進しなければならない」と発言。13日にブラジルで開催されたイベントでは、「改革は国内経済の効率性を高め、様々な特権を廃止することを目的としている」との見方を示した他、「短期的には人々に面倒を与える可能性が高いが、長期的には実を結ぶ」、「改革が実現すれば、全ての国民は幸せを享受できる」と述べている。なお、来年の大統領選には改めて出馬しない意向も示している。

ブラジル中銀が昨日公表した週次サーベイ(FOCUS)によると、今年と来年のインフレ率(IPCA)見通しがいずれも僅かながらに上昇(2017年:3.08%→3.09%、2018年:4.02%→4.04%)。レアル安基調で推移しているレアル相場については特段変化は見られず、3.20-3.30で据え置かれている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	11月10日	11月13日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,2838	3,2792	-0,14%	2,82%	3,0411	3,4085
	対円	JPY	34,60	34,66	0,17%	0,90%	37,45	32,57
	対ユーロ	BRL	3,8302	3,8263	-0,10%	1,81%	3,2289	3,8714
円	対ドル	JPY	113,53	113,62	0,08%	3,64%	107,32	118,60
	対ユーロ	JPY	132,39	132,57	0,14%	2,66%	114,85	134,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	72.166	72.475	0,43%	6,14%	78.024	59.371
CDS Brazil 5yrs		bps	179,50	180,08	0,32%	-11,94%	281,62	168,99
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	10,19	10,27	0,79%	2,19%	11,77	9,62
DI Future Jan18 (金利先物)		%	7,18	7,17	-0,17%	-12,52%	11,51	7,16
3 Months US Dollar Libor		%	1,4129	1,4129	0,00%	7,53%	1,4129	0,9987
CRB Index (国際商品指数)		Index	191,65	191,45	-0,10%	7,85%	196,36	166,48

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。